細流中乃忍

後

ホ 2
5588
1

門 ホ2
號 5588
卷 1

冊 二
號 吉 敦
函 立

房総之末神とうら

清原夢深

内閣文庫

紙鳶中ちゝ下巻

紙鳶の結一　之轉倭歌

紙鳶末段　右 [志] 中 [き] [ゝ] 左

右 [そ]

あり物のつもりくるゝ時ゝ鳶のうゝとの [四方] [丁]

をとゝ十七八日ばかりまつはの月れ出はつくし物言よ

おうとあるとゝはゝこたくハつゝかるまれまわてゝ

物ゝれゝゝくゝくるゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひらがなハさとびごとにまぢりたるものなり
なぞらへと同じくさとびたるゆゑに仮つ名にて居る
るゆゑ
○ものゝ名ハさとびごとにたゆゑんびゝ
うつゆゑ
ひらがなハ相撲なとゝ
そゝもあるく居くゝすゆゑ
ゝくゝきこゝろよこ
○こゝれんはなのゝゝんなのゆ
ゝ仮くゝ居てゝ
ゝゝれなどサヴバリそれよこゝてモウちゝつ
そゝ女のあるゝんバゝちつくゝまゝるゝ女のふゝゝうなんゝ
ゝ仮て居くゝのゝゝゝ女のゆゝゝうゝゝゝゝゝゝゝゝ

居バ一旦ゝゝゝゝゝゝゝゝ

云ハたぐふ事万事と云ふ同じ云代名の字義よハ
ゝそゝぐ又云ふ□の□は助語也○云ふのことを
ゴ物語〳〵ガ後を云ふて恋ゴ心ちいつ事ゴ
こゝるゝるゝで恋ゴ心ちゝゝぐゝ云ふナラバ聞ることゝ云ふ事
ゴうこゝつゝて居ゝでアラウ△物ゝこの白いつゝ物ゝぐゝとゝゝ
ゴ□ゴとゝゝゝて下をあゝゝゝゝゝゝゝゝとゝいふハ上の□の結び
なりゝ下白ゝゝゝゝゝ□ゴといゝゝゝ下後ぬ□ゴ結ふゴ
ゝゝくゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

たぎつ[illegible]たぎつ流の水とまつ[illegible]

たぎつ[illegible]たぎつ[illegible]

[illegible]

と渦巻の藝[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

品

かゝるべきうのとそよ者とつゝづくあるべらんさ[そ]うき[き]
てれハ秋の者とうのむこの世こゝろわ伝はされ
ほどよかるべきふるの同じ[ハ]ふ我ふ副字
うの重そこの義ものも同じ○ふのそこあそ
身あるべく果て[ハ]言ふたるべくハふれもし
ろさ者ハ者ハ筋ものて落てこマフて伝のべ
あるものてこマフ人もあるべくロウそれそくふ
とうとものもて地方ものもふくこもたびて

えとこの世きはいまこえと廣脊山よいひのたち△
はこのはづきまぐいひうえは詞と用ひられ意
面ものとうとてたるこさきこそなれど
古人こまるも探び入たるかはづ世ふのうて
いつおかくテニヲハモ等の詞たるれ意義のらく
ゆゆるハこえ用ヨテニヲハとかるこあるのかはこのそ
うくものとうくものこくこそ〜テニヲハうく用
ひびいるもあれ傾ものるしていの同テニヲハとうつ
しものとうる。詞の詞言ものうぬこの世はこ
詞用ものもふこ世ハ言ものて八詞こ

ぞ

[上二]のこゝろ[ぞ]めでたき[き]

[上二]揚ゆあそ[ぞ]その中にてのうれハ

めぐたゝ[ぞ]愛とゝ[ぞ]詞の働きたるまゝめづるともめぐ

いとゝもいのゝ也光ゝもめぐたゝとゝつと初ゝと

義ゝ[ぞ]ゝ[ぞ]ゝ[ぞ]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のつくるこゝろをいつかは同じくさよいひのそらわ
はなもてるもちゝそ や さぐき ゝぶるる信田の杜のくるゝ
もちゝくゝ枝をて枝の数をくさ〳〵さぐてたくと
こゝろをはへ〳〵わかあるまゝのぐれとわの 撥 のゝ枝る
わるまゝくゝ風とゝろゝ成なりてゝあわ
○ちゝれゝのゝこゝ波るれあゝひゝの梅ゝ枝
みゝ〳〵ちゝれめゝくさ風〳〵くゝ(ゝ)ちゝ(ゝ)カゝテさぐ
みゝとものゝくゝるゝびゝそゝるゝゝわ

右二首山のあらばゝのゝ枝やゝくゝたゝゝと
枝はくゝ波のはゝすゝのゝろゝちゝるゝやゝ

くゝとゝふ枝ゝくゝきゝやゝと や そゝる句ゝ下ゝまゝゝて
ゝゝゝゝバ き ゝゝゝたゝゝゝ枝も や ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝるゝゝ

連 激つせの中ゝゝゝゝゝと かど ゝゝまのゝちせゝゝゝゝ き
ゝゝゝゝゝゝのゝゝみゝせゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ言とゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ○ゝゝのゝゝゝゝゝゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

何

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第二段

右

(そ)

(そ)

[そそ] [しそそ] と云たるハ同じやうれるゆゑ
いたくこそ汚れたるなれ
[そ] [ゆ] [し]

(新十七)
[そ] [ゆ] [し]

[そ] [し]

[そ] [し]

[そ

えびの舟に村雨のそそぐ時は人とそそぐと詞をそ
へ行るとも一生涯の事なれば行くべ
マリと給はれば□とかく即あれ拾もうとる我
也○これそこは清のくるなのひてをるこの生涯は法
華あるとそむいたり他のうつれあらばこそこの
ふるあのこのさ心あるよ此宮原の伏見はまこ
の人はそのあはとかるくあはるこれ
たるをいまあはれ給へ
拾先
給せとふる□る□いまあはれて給へ
元貝の名○この世をは私なるぬ拾まく牧

給せ〻はぬ□るいのギヤ甚拾井よてもそ人
とそふ者の□又そ〻ふ拾孫さ沢いもの望
あ〻ぬ元貝は拾ふて元貝はるとて紙カウゾ
□字はんとつ〻ふ
百万
元のまたぶつまで拾田はまこそ生るくる□
元のまと神と即元の義せみ〻の中は水澁也
水面〻〻沢の流はたるぬ〻くうひあ〻そのとこむ
きこは引極せもそこそ秋の田は荒鬼かぶは
ろ〻よせつ〻ぶと向は拾のけ梅の蕾と槌と
さげるまよ縄とつ〻くたるこ〻ろ〻縄と元はま

紙捲杙とあらわてカタ〳〵と言の出れ共うとゝいらく
たゝうゝのやわらかゝらも山田は不〳〵とゝ作とあり○言の出
ゝ八神よかのあゞ淵のつたてゝ淵淵よりたゝるまでゝ日
数を重ゝく若名しゝて杙に田代杙とまつらゝ部又
引板の縄ゝを延て鹿兎をとゝもゆゝれかゝる
しゝとも也

ひゝの徒おてゝをもゝその中伺ふもかゝく結なゝ
なれど杙に田代のをあゝとゝれゝゝゝ徒ゝ又は テニヲハ
ゝまおゝゝゝ又 也 ゝ也 かゝ杙注井をゝゝゝたゝゝとかゝ
ゝ徒といゝゝ也とゝゝせゝとゝゝよゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

○注ゝゝれゝゝの白ふ杙に田代の一字八信ゝゝゝ杙ゝゝを
ゝゝ夕ゝゝあゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

切ゆて義ゑ示となりたる此ゑぐらめばいもあゑせて
此御ゝ伝ゑ所

（往）

古語 あゑゑこひ［1］今ゑみそがらたばのゑれとゑゑるやゑゑまで
あゑのあ［illegible］伝ゑゑアー［illegible］アラアラかどゑゑれせなゑ［illegible］
なぐく泊ゑく伝ゑナツとゑゑ也ゑゑ伝ゑ二ッあゑせく
［illegible］のなとゑひ伝ゑアー［illegible］ナウとゑゑアー［illegible］ゆアー
ナウなゑのやなどいふせアゑゑ［illegible］ゑの［illegible］ゑのれゑゑ
孔ひのゑ［illegible］ゑのなゑゑゑばゑゑゑゑよ［illegible］ゑのゑゑて［illegible］ゑのと
よおせゑ［illegible］ゑれ伝ゑゑゑゑ

こゝは男も女もまれハ九ぜくの世のすらぶきとなるよ
てゝ[袖]ぶるゝとゝくたゝぶ生をびらるゝのおの〳〵
おとなゝ[長]ゝて[て]ハ女ゝて男ゝ恥のゝれてゝゝゝび男ハゝて
はゝゝなゝゝよゝゝゝゝゝ世のゝゝと
ゝゝひゝゝく男ゝ女ゝゝゝゝゝ

ぞ

立

ぞ

ぞ

ぞ

ぞ

ぞ

ぞ

ぞ

ヤ[ヨ]ヤ[ヨ]ヤ[ヨ]

ふのちるす　やとび　ゐ　すゑあたるこの山はうどひのちる
ゑあハとこいんとての枕詞也たつこの山大和也とび
しにハせんうとかまよかたぐくまゐ伝ゑるセウてるがナイ
とゑゑも○この此ゑハちるのちるすぐどうも伝ゑが
かうくてつうんのゑこ田の山よゑるの唱ゑがゑゑうよひ
ゐるとかのわ
たこゑゑとまよ　しき　とゑびたくちよ　や　の猟ひの詞
うゑあぐくて悲シイノカ　ロビシイカ　と伝ゑるよして
ヨクせバ　ゆ　字より義ちくゑを
幾
ゆだちのうのまえふとのぎもとあちて　ちと　うくのうい　しき

ゆだハたてのやとゑゑのゆ也名ハ茅ゑ伝ゑハ　ぢぢや
とゑくく毎の苫ゑまるかやちけるるツバナとゑ即ち千
花とゑゑ義也ふハ麻生。豆生埴生。かどゑふ也麻生ゑ
ちどハ麻ゑ茅成作くく畠のうかど茅ハ作くあよ
あくびやまとの自然生也埴生も埴土の出る土地也
ゑるけハ生ハたぐゑ土地とゑくていふ也ゆ茅も
ゆさゆきゑよくびさくく海苔といふ也小野ハ
小字より義ゑあくび小川　小山かどゑいふて　山ハ那智
より小山亀の小山川ゑ　楢の小川開の小川かど也那智
亀山とんゑ小さい山まあくび　那智　大ちう　桂の小川も開

のふかきとあさきとあるべきなり　後ほどの川と
はハ秋はのみなれる田の中なるべし　これも阿陀の大野なるべ
きなり　こゝにてとゝまるべきハ小山小川小野などハ何も
ほんとうにこゝにとゝまるべきなり又所名の付たるとまて那
智のおもてハ大なるなるべし　清水なり
但名おもふと云べし　ふしよりてハとゝまるべきなり
篠　よゝ竹なり云　原ハ海の李巡と云人の説なり土地寛
博而平広名曰原　今所謂曠野也とあるとれるよれば
野の中なるべく廣くなるべし　篠なる處なるべ
こゝなるむさゝびの原なるべし　原ハ海の原なるべ

ぶとハ行るゆくもくよきれやうるのうあれこゝ
とつゝ成もつのゝとゝ結るもこゝ結るもこゝ
又多のとゝなるこのふもなるもこゝ
このゝれまぶるゝうもゝれぬやうるこゝて
もたゝこゝるよゝ訳るもむさゝびの句ハ二三
たゝこの句れるれゝゝいとゝさんとゝて
なるゝゝて二三の句ゝこゝとなるこれるゝ
るゝゝゝもゝ古ゝゝハ多くある
めくもゝるはゝのゝ侵ゝ
むさゝびとんのゝちゝ海ゝのゝゝてゝ
れんゝまゝりてゝゝ　○　この　ハ如ゝ

○　紀伊国の

のくにぶでうくされソウチあギヤニさそ〳〵合点のゆうぬる
なるとんの国を称ひいるるなり
世ものも なるど うを自れ俳るめぐ〳〵て人のえて
きもはとしたるるるぞとんきおぞテニヲハぬる
このなり

左

ここ

伺の

○うるれ中さて称ぶ 伺 なるもぞれら
後十 あとられバなるぞの涙中うるてい称 ここ きうまほ れ
世ものハかアとせざわうるぬれうとうちらじて
うるくるれおあり涙ふるのあとて文まりあり
蒼頡ここもたちうの写あ成〳〵文字と作るとる

うるのあれバうるれて文のうるるるのいとこる
なり○うるるの涙ハ紙体也○歌の言ハ称よくれ文
うるるみせハをのハなぐさたり世うたうるるあひ
て歌を知いる称うるコレゆういと也きうまり一ハ伝
ヨキ〳〵メイモヂヤキイテホレイなどうる也

ここ

高 月うれバなるる ここ ちうる れ ○歌オ初つの秋よハあ〳〵ゆど
物人のんをかなうまりめくよほづれあのうるるまつて
もだ物の引きはなるちぐそゆくまき言の多
きれいふ○言れうるハ月をとて月ふ世るて出れ
物のコレとのなるんロイ系一人の秋出〳〵なく学ふ

第三段 き 右 ち 中 しの 左

しの段とかの二段とせよ上の二段ハ孔子ち ち ハ右

き 中 れ ハ左 の結びなるべしの結びハ鱗よりなるべし

右

ち

て き ハ右 ち ハ中とわち れ も ち のとこのそなたの細孔ち

わたしとしてし き と ハ のそれるテニヲハの肝要ハ

て言葉のぬけたるもまれるなりかちよくくはしくとはなる

結びてそなたしらるべしの要

後三 風ふれ行まるもおし揺ぶるまれあるべしち ハ

しるかあるこのなれバけまるるべくハうちくくしらべ

さるべくくくくくくくれどそれともでそなたの

解像の女子やうてはもはくまのもるよ敷忠孔子のま

まるるかよひてるる様の子よりてるるるるるるるて

本のりるはるるとれバ母の人いひもくくるるるみくくる

[illegible]

其母ハ則敷忠朝臣のかゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひろもなあるる歌なれば又はじめよりてかくのごと中
さぐハこののんはてこのあしびはんきじめの詞なる時
ろき撥を形て[illegible]だらのつたへ[illegible]なりれバよみ〳〵きしび
「撥をたいふ」くし戎なりれどのこみよんをだかぐ
よよなりるよ[illegible]一伊勢一ゑんぬ人のこのこみとそこハこて
とこれるみきバ詞きよ友だちといるハ即伊勢く
「つこみハ形ゑんせかの方よりおそせたら歟とやがてこくく
の形るこひかぐ〳〵てゑるれいるもるれハ死別の法の
みよ法〳〵撥ゆゆ古語調度などと法るおるく
よどぶん至つこ〳〵ゆくれ歌見ているもとハ互よ

たとはうみてこくあふるのちれしちぐるどちかるき
よみ〳〵きしびの形はるるこくあるでおつのしきる
ひ撥ハむしよりきしびせるんしゆと記しきる撥よ
ハあれどかつしはのたまり此歌ゑんはやがてたが
容貌（カホカタチ）ゑよんるこのめくよるられておぐきらじまんるもそ
なぐさるぬりしんるもをとおるせくこるえとるる
よるるるみたるせ人のをして過とおるるはしくハいる
うくもねていこるくるくるれいまくしきなれば
人のふはれみせされるはるるるはしくくとるふ
うるみりてこれるきるかるるんれば
なるれ紙はせバ[illegible]なぐるよおくるとるかるくるる
なるるるくなるきよめよるて義也

関東の信濃ヨリナバサマナイ　とろナイヨ同下　○ろはの
はこそハのはちゑ〜せたる桜ハそうそうをみあるとみ
るめくるおぢせもといひぐそうる枝を折てゑ〜せたら
ばナカツタ　まもあ〜びたぐ考ろ枝〜とてこそて
ゑ〜せ〜あせこそ所ハこのれをハさそうそうこまろ〜く
ゑハかりこそうそうもるまくけもバゑ〜ゑれたぐ
らこなるゑもデハゑれカラよそやうゑは決して
しめそれとそ我也　ゑんめくもを伊勢ゑぐのそうはく
ゑいまこ者ゑみめ右をいみゑあ〜び
古今集　昭宣公の詠歌の詞書多くあれどこのも通

詞書多く一首〜うてたうくかやうゑかそうゑれ
そまつ名はまもバゑ〜のれけそうはなゑ
やうまゑハ出撰び都ゑ〜ゑ〜ゑ〜びゑのもゑて
のゑのも一ゑ〜ゑ〜ゑ〜ゑてそうくたてそうゑを
るのびそうゑ者たちれそのほ撰わるのれ
也信撰集いトの撰集ハゑ〜ゑるかやうゑかそうゑ
ゑいくねぢそうゑはゑ〜ゑのうくゑのけ信撰と
いでもゑけそうゑとゑて　梨壺の五人の撰した
るかれど　古て集ゑうゑ〜ゑでハ勝てたるゑかそうの
めゑ〜ゑれも撰ゑ〜ゑ〜ゑ〜

うるぶるもしん地でとやくねバ焼ゴ（ザ五ニ）ねバ焼ゴ（ナズ五ニ）すくるまるめ米も（アッタ）あるき（き）
ゆとちくと云ハ桃ゴ（キト）ちくるゆ也　よくゝハれゝ云ちゞ成
ゆゝん米てせゝ物ゆ也たるゆ也ちくるゝつゝて稲
ゆよゝく桃ゴ桃ゴるまゝくなどいゝゆ也の桃ゴハ大ゝく
野陣のゆゝとなれバゝゆ成ゆ米めゝく桃ゴゝ成ゆ
桃ゴ桃ゴゝ桃ゴゝるゆ也ゴ一〇ゆゝのハゝゝゴゝる意
ゝぶゝゝん地でとゝゝぞゝゝゝゝる焼ゴ油ゴ桃ゴゝ
ゝて麻め米ゆ桃ゴ桃ゴゝ桃ゴゝ桃ゴゝ桃ゴゝ桃ゴゝ意
れゝう地とゝゝゝゝゝゝゝ米ゆ鍬ゴゝゝ麻ゝて焼ゴ油
ゆ桃ゴて麻ヨウ地デアルタニとゝゝ

桃ゴ（ゴ十四）のゆゝゝゝゝの風も米ゆゝゝ桃ゴ桃ゴゝゝゝゝゝゝゝ
意ゝ地〇ゆゝ意ハ焼ゴゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ麻ゝ油ハ
ゴしの遠ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

きぬなれどあーはしきこゝろのあれバさもられぬ風
さゝもカツメとゝゝゝゝゝ

五 みゝゝゝのゆゝゝゝゝゝ

あるふ 宣長の説也 とづるみハシテサニこそこそこそもコキタサニカラ
風こそたるみハ風ガイタサニ也こそたきこそもこそなどこそハ
詞癖ゆくゆくのいふ詞のいとくるよあるる故也又侍る
理屈タケイこそこそもたるこそこそこそこそもあれ
ぜハくあるぬくぬくぬくぬくぬくあるのれぬく
とふなどこそ也わぶぬいハ落決せ○ゑれんハ二段ゑ身れ
るぶくのさまくとこそいふるれこそこそこそこそ
ぶけこそこそあるこそこそこそこそこそこそ
あるくくのゑ飽こそれこそあるこそこそこそこそ
つよこそこそ

中 (ろ)

後ゆくこそこそこそこそこそこそこそこそこそ
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
どこそこのゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
こそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそ
こそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそ
大法こそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそ
こそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそ
こそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそ
こそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそ
こそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそこそ

宮よりてうらの白なるはんちがんそうデアッタ（ところ義也）
はるのの白れさーしさ「の」ハさーしされーあと
続くくーあーいくゆるれ條の続くくの拾ちち
中続く拾ちよる「そ」「の」「や」「行」のテニヲハあるべし如く
義こそあるべきなるとこそ下の白れ歌でよくべ
なるべ花せ「ー」こそ「ー」宮これ也ちくとつけ法
ふべ

高

そ

歌のうちにつくると「そ」まこと「ー」秋ふるれ多くそ「ー」
歌のうちにまるもさ楽ちる歌くとみどろて出一種乃
うるとそ我くこそ多が秋ふるくこそ多なのくをのそ

の

や

そくさもくのそよぐあるヤイ
はよ「の」よ詠べの仮なしなるの「とれ」を「そ」を「て」
後七 らつすれ秋「ー」まれるゆるべるる「や」多とくべ花なべ「ー」
此の和歌をよれは男れ秋とふくこるけるるあり
義要のあらべとるかれ離さくるとれ
きどくるれも○多れこそのべくは男れ後と来
訪ひくるべを法花て来べ
多花くまくべ姫の和のゆれはさくはんをるを
志さ「たこそ」こそ「ー」むといひて多ものるまも
し和花べのるめれをりてそ文のちべこと

○ 和法花

○ 下三十

みくまたなかつかさ（ナカツカカ）のかたこそかたられもせと下まきて
かつよくぶ[illegible]ゴトナヒヤとこんをハ[illegible]の義
よくこゆ〻[illegible]初のつのる[illegible]とよせる
後拾遺 いたあるに（色ニテ居タリ）〻〻ほそ（謎ニテ居タリ）[illegible]
しきの組おとよ[illegible]
村よの女こゝろ（保子内親王 親子の御姉）[illegible]
んよ[illegible]
第四皇子母 ハ賀茂氏 [illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]ぬ[illegible]やたなとくどにかのようにくらしたもの
[illegible]ますもくくてあぐるなまくれ[illegible]いづれ[illegible]ることくるこんとくこと[illegible]
[illegible]ぬれこそはぬるあぐるものたるこそふとわかまき
[illegible]くしぬる柱しくくこそあぐるこそたるくあるかよくれし
ぬる柱しくはハづるこそこさるなるみくこひむとうくく
ぬのこそれきこのこと[illegible]ぬこと[illegible]ぬ[illegible]
あれ柱しくくぬるよ[illegible]ぬるよ[illegible]ぬこそ[illegible]
もこそぬるまこそくこそくれよこかぐやくるく

品
伺人のまてめぐかて[illegible]蒔袴本[illegible]ぐるゆぐでこと[illegible]
蒔ぐるハ蒔袴[illegible]ぬこそくぬこそ蒔ぐるの

袴よりもくくこそぐーはこの二百は[illegible]と伺
の結びくくこそ蒔ぐるハ二百の蒔袴
こそ衛の白はよりくくはぬるくくこそこそ
[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]まくまくかくぬ
こそ白こそ蒔袴ハこと[illegible]ぐーされどはこの結こそん
ぬるはこそ二百の[illegible]ハ伺の結ひかくかる[illegible]とこそ
はびくこれハ牧蒔袴こそ袴こそ[illegible]くくはくくの
ぬこそこそ[illegible]ぬこそ蒔袴こそ[illegible]くくいそゆれ
ぐ百の結ぬぐーはこそハこの伺ハ蒔袴こそ結
びてこそれ[illegible]ハ伺こそこの夕こそこそくはくくの

脫の付紙ノ所後ゾマアと御さて屋ー脫よ左人らの左を殘
み宣長自ラ御ーたる詞なる「ビフヂハカマハ行の人ノ名ニテ
ヌギカケオイタ後ゾ妻まく」秋ニナレバ此時ヘヲニホハスヱ云く
そ人ーまめ武いひなのう人今又此詞のむ妹結よ二句の志
う切さーたるもて誤なちを　上の句ニ秋妻まくこそ云ふ名
てこと云ふ金てーあるなるて　きてこそ名てこされどこれも行末
の作古くれを殘ハ古ふ　○拾ふ詞のむ妹結も安永八年
ふ作てそ殘あ　作なれバもこ後の作のすイー
こもうたるこや

於十
えうたてふ名ハ人ぶ　人ぶれバ　こそ　こひこめ
（十二段格也）
てふハとつよこそと　緒んていてる也　ぶこと　ふハまバ
といふせ　トイを　緒むはバ　チ　とかるふれて　第四音

のテよ　ハ　ふ　ハ　ふ　ハ　ふ

由よりてそこくつあるとそこ[illegible]ハきの[illegible]てこゝにアツタ[illegible]
さゝるドウレタデマヤいつのころよりか[illegible]
ノゾイさてく光信のこゝつをるてハけやもしものよりて歳
ドたるあり

第四段 [illegible]き 右 [illegible] 中 [illegible] 左

此段よりこゝの張びたくこれハ上の第三段のかく[illegible]の
たゞやこゝるこゝをきこゝるすなわちこれどこゝる伝ハつとくこれたゝる
るなれバ異きたるこゝ此第四段と下の第五段との二
ハこゝの第三段の格と大同小異なる事なれば大同小

いこの所以ハ右ハ[illegible]中ハ[illegible]ゝたゝる同じこゝをもかの異
ゝゝ所以ハ此ハ[illegible]き 右 [illegible] 中 次の段ハ[illegible]き 右 [illegible] 中
と必[illegible]と[illegible]とふてくき[illegible]き[illegible]ゝてき[illegible]てし
と云ゝゝて[illegible]ゝ徒[illegible]そのやゝの[illegible]の伝びたゝゝ此段ハ
此段ハ[illegible]ゝの[illegible]の法びたゝゝの異なる段ハ[illegible]
又[illegible]の張びゝ[illegible]の[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
はのたくて[illegible]ゝゝ[illegible]ゝゝゝ

(十七)

ほどこしとゝめづゝきさうすかれが先の俤よハたゝ
ゝ〇まゝてゝのゝと結びたゝふかゝ人のゝ
び彩の詞よてゝのれとゝあゝゝなる著きゝてゝ
詞これふと侘
ゝくよむやといまれどゝも結び詞よあゝびふる
一つの詞なれゝゝゝまゝとゝ結ゝたゝゝつゝ

古十三
ゝゝゝなゝゝゝとゝゝゝ陽つれ二ゝ日ゝゝゝゝの彩ゝゝゝ
ゝゝゝて伝ゝゝゝゝ

(九)

[illegible]の格也第廿六段の[つ][つる][つを]の格とまぐ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

(十)

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

(十一)

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

よこひさのきん物とも物かゝてとゝきこえわハゝん
をきるんの図まて〻上ゝたゝまて〻ゝゝかゝて〻師ゝく
ちゝひいなんハイとも也

源氏竹川
ながれてゐたるめしなりき行川さゝらに物とおもひそめ[き]
ゐきれてハ川の縁は泪なりもゐのれて川水のたゝ
なゝてゝめ〻えはゞのゝ水ゝまれてゝ
よ事のゝ[illegible]ハ川なゝれてゝゝゝたのゝれく
おとゝ[illegible]ハたのゝゝたゝゝゝと〻我也竹
川ハ[illegible]のなゝゝ[illegible]物このゝゝ竹の縁
は泪ゝ川の縁也ゝゝ竹の[illegible]

よ也あゝ泪也○ゝのれゝゝ六未の之ゝをゝゝのゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
デアル
此ゝのゝ[illegible]物ゝゝ泪のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
てゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
てゝ泪の自然ゝゝゝ[illegible]泪物ゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
の[ハ]と結びてゝゝ物ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

一はぐくむ杉の根なるものもまた此宮の
ゆよハ[illegible]ゆとゝ[illegible]とかゝてうゑ[illegible]ゆとゝ[illegible]
[illegible]と杉びたるハ宮ゆの
杉くけすゆゑよりゝハ[illegible]
[illegible]五
かゝるゝ人のやゝるゆ[illegible]ゆき[illegible]ゝゝうつゝとハ[illegible]
[illegible]ゝゝ人のかきこハ[illegible]ゝゝゝとゝゝゝゝゝゝゝ根
ゝゝゝゝゝゝゝ

中

(そ)

この人よりそさぐめくしてくだびよりくひとりぐめよと仰せられ
それをそハよくゆあるとぞうちろうこうとくとくとく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひ出ハ仍とて古信ぜさると孫ひて九重の世界
中は宮のさるとうん世孫もめやうるナツタてるゾイとふ
義なり〈八字ヨカラマトたくのこせてよみたるハ〉いふ
しるのなりれたのハ手様ふ九まる白ひめ〉ふと
ふる同じ孫なり

聖哥冥貴家隆マ
神代より[いく]そのこ[よ]

このもえハ家集ヨめ幼女雲女オの宮うまあてはづくき
嫩き也ハ新くもを古る也て女ある孫ふ古ふ
もさ義也段ひ女とそハ非くひハ音オうておとろ
このなりこのうて神ふるらもて九本留山とよんこなり

ことをめるもの神とをるといひそたる也〈ハ〉よんるが神ふる
山のみつ〻ゆの久しき学ういさひそんてき

はしのハ下の五段
徒の孫びのつき

此結なくふ(テ)(ニ)(ヲ)(ハ)の言かくて久しゆ学ういさひそあ[つき]と孫び
なるハいなるゆものこヨゆとそふ久しき学ち[ゆ]いさひそあ[つ]と
いよごき成[ゆ]ものでよいかハ久しるまもりてかなりてゆ〻ゆ〻くれバ[ゆ]
ゆ異きさそち成[孫]の孫ものは[てき]
と孫び結なること[ゆ]なるゆハ[てき]と孫ふハ考也又久しゆはよる高
[ゆ]いさひそあ[ゆ]のとうても同じ我ものるゆ伊勢物語よハ〻ふ
うのく〻むつまじとゆハ考ものみづきのいろ〻ゆ孫ふて
くゆ〻ゆ孫ものいさひそんてゆ〻ものハ本留山ものくれる芳ゆ山るて武
ゆ孫ものくれ居ものゆ〻ハて女天隠ものくるてび神
ゆ孫るものて神ゆ〻ゆ孫ものゆ〻ゆ孫ものゆ〻ゆ孫もの

しくなる毎によろこぶ事くなるまでは黙きつされども落て
のはたぶくハて女落てそこに流るゝ水もまた
ぶ出てそれ下の神ゐるひとくるそよみ給ふるゝ心
そはとまれつくこれ△みづ恒ハそーもとつ〻ふ枝はまて
あくまでとはあてを須之瑞穂瑞枝水草などのみ
つる同一〇この言ハ天ゑんてのゐるゝ山の松ハ神
代より筆の代を経みくるまぐ〻と蒙てこんゆる
まさいるも
此のよつきたるひびの[ヲ]ハ活語の結ぬるもナウ
タゾハ代経タゾとゐるあくるもち

[こゝ]右よいるゝ此の[こゝ]まで結びか

第五段 [てき] 右 [てー] 中 [　] 左

此傳ふ上の第四段のまとめよいるのめー

[て] 右

結二 うくるねよ玉つきくゝ代そ〻よ四松みそ〻ん[てき]
うくるねハ御孫也そんそ〻よわの[ー]ハ助語まて本の結
びの[てー]そそ節也まづ〻〻〻

(ち)

いるるかな

わびつるはるぶわ 八ろ[illegible]

このうたハ[illegible]

さそうちかがきちぶ[illegible]

ろ[illegible]てるてかイ[illegible]

はてゝ[illegible]

[illegible]

ア、[illegible]

(ち)

百十三

[illegible]

[illegible]

きぬ風さそひぬた[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆるあるべていとねとのるなるまはたるまはせいぬ
のもハテニヨハのもちまはよいねいぬいめるまでつゞて
いるとまはよいめるまはいてそ
あとるれのそのいそれちう
かるそ話ふてき（てきり）の伝なるなるなるゞれるう
白もるのるれ一ゆるるる

ぞ

さてふるまはぬ[ムル]ことをいふ事ヂヤ　京なまり

はなはだしきの場合なるべく

デナアルワイとそ義也

五十

よのいとはたらくしるしのごとく　ぞ　人とそひてゆん　てし

ちやくハ伝そるとんなまり　とそうトウカラ　なぜそこれ

也四ようまもしるものとしつと　というもんあるれとその白ハ

くとそるといふ　ハ　よいひつてたるみてして

こたのしたそこと　序奇とそ　○　このこハ吉也

四のしるのめくとそ　早くとそ　ちんぜひてゆん　ダワイとそこわ

ゆれうてまいひて　ゆれうてまいひて　ゆれうてまいひて　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

よまいらせ○はかれさハ郭公又ケキ神まび
しうきみぶきの宮よめづ〳〵ゐるがはゝ歌ゐれ行まし
ゐるゐ一夕新ゾイとかゝハ此歌ハ古今集より「そゝまの
ゐるゐ一て一て郭公ゐてのあらぬの新のゝうぬ
とあれよなおらよしてよゐるかゝ二三句第三てし
郭公とあるゐハ此ゐ歌も同じ事れ
やうゐゆゑれど古今のもきまれゐるゐハ夕郭公
はゞく泊まて「て一」とゐ泊たゐる郭公よつきは
ゐまて「いく」ととこの「いく」の数ひの泊のあてを
「いく」ゐ泊ひたる「て一」なれ二の句まて切て五の

歌ゐ者ゐとなれまてゐく郭公とゐよりかれ句はいく
いくせゐのゐとゐゐ四五三句とつゞて歌ゐあを
神ゐ歌ゐこの歌ゐ月ゐ句ゐよめづ〳〵ゐ第三新ち
同(イツトセ)新ゐ句ゐゐ一夕新ゾイとゐ歌ゐ也
かく同じ泊でゐきたゐゐはゞく泊ゐ切ゐ泊とゐゐハ
ゐゐ「そのやゐ」のテニヲハあるゐゆゑまとゐきゐハけゐえ
ゐゐゐゐゐく中ゐてゐゐかゐゐゐゐゐゐはを法け
ゐゐ法ひてよゐく〳〵ゐゐゐ人歌一

ここ

ゐまてゐ伊ゐたきゐゐゐゐゐゐ

の約とたるもの外本の條なる［一］ハ［たるゝ］［一］左の條
あり［ゝゝ］此詞ひの［一］の［一］ハ［たるゝ］［一］のとゝくよ
く調ひてよく考ふべし第四段の左の條なる［ふゝ］ち
［ふゝ］中の條なる［ふ］ハ［ふゝゝ］［一］也第五段の左
の條なる［てき］ハ［てゝゝ］中の系なる［て］ハ［てあ］
［ゝ］なり○たゞし［ハ］［てあり］の［てあれ］約とたる詞
て迫しかてあり［ちり］約えていづたる也
此第三段第四段第五段なる［き］ハ若し［ゝり］の約
またる詞とハ人名をもとゞ下の第十段の［ゝり］［ゝる］
［ゝき］とゝくゝく［ゝり］とゝなるゝゝこゝよいて三四五段

［ゝゝと］ハ［ゝる］［ゝゝき］とハゝゝゝのまもちの自動詞
ゝゝ［ゝゝ］ハあるなりゝゝゝゝまりまゞ色ゝゝゝゝゝ○
みのゝゝゝの例ゝ［ゝる］未ゝ［ゝゝ］［たるゝ］［たるゝ］
［ゝゝり］［ゝゝゝ］［てゝゝ］［たるゝ］［たるゝ］なゞおつゝ
たるゝ［ゝゝ］ゝゝゝゝゝ

かれば法ほうのひさうまぐそひ法そぐおのづのこる
よくさうしやうきうたうとそれどわんのはどもまの
者のやうな梅ぐまぐはのびまくたるやうるぐ
えくは法ぐこさうきハ梅とてぐそねどくも本こゝえ
えびをたちのひたのとたきねばまてくまれ
めまあぐでうせむとハうあーされバ泊のむ法結り
まぐくれ法ぐこのれ炮ぐうとてぐむ光結よてくし
人生バこも本こうよくこうぐるせさてきくくと我
乃四生バこ梅のちぐたるまきのたるもおるこの
たるく板ぐこのようものきこうをまるこをたるきく

順このふくこてこのようもとこうめぐくたる
このこ十たまれうこ
こ事法ふこのつもやはまくぐたたのの
おこけぐこくこうこまこのこ絲とこつこ
乃つるよ我きくくこれはこちやーこけくれ
泊のやここ泊まこはこーし紐あれ人たうみたど
いかこくひのこむまあひの見めくくたこるぐこ
てけこのむこ我このこ川こみるここけ生ハくこき
ぐこのこくこ泊の法ぐこうこ九　こ法ーとやこ法

[illegible]

[illegible]

[illegible]

文政十とせ春